

阪神電車 その四

阪神電車の日本一（ジェットカー）

阪神電車は駅間隔が短いことは、前に述べましたが、阪神本線だけでも、**32**駅あり、これに列車の種別が（直通特急、特急、区間特急、快速急行、急行、準急、普通）と**7**種類あり、さらに加えて列車密度が過密（MAX **20**本／時間、特急停車駅では**3**分に**1**本）である。阪神本線は営業距離が**32.1**kmしかありません。所要時間を**30**分とすると、**10**本以上の、しかも種別の異なる列車を常時安定して運行させなければならないのである。

一方で、常に 阪急とJRと競合し続けなければならない宿命
会社としてのキャッチフレーズ「待たずに乗れる阪神電車」

この双方の、このムツカシイ課題を解決するために考えだされた一つが、「ジェットカー」である。お客様サービスから、普通電車は減便できないし常に、今の駅から、目前に見えている次の駅の待避線にいかにも早く到着して、後続の特急電車が線路を譲るのか？ 普通電車がモタモタしては、特急列車を早く走らせるという課題が解決できないのである。そこで、自動車のゼロヨン競争のような、発車から「**10**秒**15**km/hr = **30**秒**45**km/hr」のような急加速、急減速が出来る普通電車が必要となり、開発したものを「ジェットカー」と命名したのである。

その後、この技術は大きく評価され、各電鉄会社に拡大していったのです。

（各社毎に呼び名は異なりますので、その都度 ご紹介します）

現在 走っている「**5001**」系の電車がそれに当たります。

阪神電車は、普通列車のお客様も大切にしています。

